

平成 24 年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ① むかしながらの野外活動アクティビティに関する調査
(助成者) (公社)国土緑化推進機構
(期 間) 平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
(概 要) むかしながらの野外活動における遊びや学びのアクティビティについて調査、検討を行い、その遊び方や学び方、材料、道具の作り方等を取りまとめ、アクティビティ集を作成。
- ② 身近な里山林等における体験活動事例に関する調査
(助成者) (公社)国土緑化推進機構
(期 間) 平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月
(概 要) 身近な里山林等における多様な体験活動事例について調査、検討。

(2) 他団体の研究活動等への参加

事業活動に活かすため、他団体が主催する研究活動等に参加。

- ① 森林共生フォーラム
- ② 子ども樹木博士認定活動推進協議会
- ③ NPO 法人 自然体験活動推進協議会

(3) 参考図書の発行・普及

新しく「なつかしの野外活動アクティビティ集—森あそび・野あそび—」を刊行するとともに、既刊の「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「森林環境教育アクティビティ・プログラム集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ関係機関等に配布（No.299(2012年4月)～No.310(2013年3月)）。

また、森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集・配布を行うとともに、ホームページの適時の更新・充実に努めた。

(機関誌(情報誌)の主な掲載情報)

- ① 森林レクリエーション活動に関する情報
 - ニュージーランドの里山散策（No. 299、300）
 - 2011/2012 スキーシーズンのスキー関連新聞記事から（No. 299、300）
 - マウンテンバイクと森林利用（No. 306、307）
- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
 - 創立20周年を迎えた全国森林インストラクター会（No. 299）
 - 森林インストラクターの活動（No. 303、305、307）
 - 第24回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の活動
(No. 304、305、306、307)
 - 「聞く」ことから「つながる」—11年目を迎えた聞き書き甲子園—
(No. 306)
 - 森林の力—走り・遊び・学ぶ！—（No. 309）
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - わがまち：日本の蔵王、世界の蔵王を目指して（宮城県蔵王町）（No. 301）
 - わがまち：豊かな森林や四季折々の観光資源を生かし、これからも住み続けたい「水源の里まいばら」を目指して（滋賀県米原市）（No. 303）
 - わがまち：「人と自然が美しい村 やすらぎと潤いのふるさと」をめざして（北海道赤井川村）（No. 308）
 - わがまち：「人と自然が共に生きる元気なまち」づくりをめざして（北海道共和町）（No. 310）
 - 山村の現状と課題（No. 310）
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報

- 索道事業の現状と課題について (No. 301)
 - 平成 23 年度森林・林業白書について (No. 302)
 - 「木育」を進めて「木づかい」へ (No. 303)
 - 世界自然遺産の島、小笠原諸島 (No. 304)
 - 森林における放射性物質の除去及び拡散抑制等に関する技術的な指針について (No. 305)
 - 国有林における国民参加の森林づくりについて (No. 309)
 - 民国連携による海岸防災林再生に向けた説明会開催される (No. 309)
 - 国土緑化運動と緑の募金の取組について (No. 310)
- ⑤ 当協会に関する情報
- 一般社団法人の発足に当たって (No. 300)
 - 一般社団法人全国森林レクリエーション協会の定款について (No. 300)
 - 第 24 回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の決定・プロフィール (No. 300、301)
 - 第 28 回通常総会の開催 (No. 302)
 - 平成 24 年度森林インストラクター資格試験合格者の発表 (No. 308)
 - 平成 25 年度森林インストラクター「資格試験」・「養成講習」の日程等 (No. 309)
 - 第 26 回森林レクリエーション全国研修会の開催 (No. 310)

(2) 第 25 回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校、地域グループ、職場グループ等のボランティア団体等を公募（締め切りは平成 25 年 2 月末日）。

応募総数 28 団体（都道府県推薦 18 団体・森林管理局推薦 8 団体・当協会支部推薦 2 団体）について審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞（1 点）
特定非営利活動法人木曾ひのきの森（長野県上松町）
- 林野庁長官賞（2 点）

アジロ山の自然と環境を守る会（高知県高知市）

特定非営利活動法人唐津環境防災推進機構 KANNE（佐賀県唐津市）

○ 協会会長賞（5点）

外山森林公園サポータークラブ（岩手県盛岡市）

白根山系の高山植物を護る会（群馬県草津町）

きぬがさ山「里山に親しむ会」（滋賀県東近江市）

こうべ森の学校（兵庫県神戸市）

特定非営利活動法人フォレストサポートクラブ（広島県三原市）

○ 奨励賞（5点）

北海道音更高等学校農業クラブ（北海道音更町）

夕日ヶ丘森花倶楽部（福島県二本松市）

藤枝駿河台森づくり委員会（静岡県藤枝市）

特定非営利活動法人八幡たけくらぶ（京都府八幡市）

筑紫植物友の会（福岡県大野城市）

(3) 第26回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「北海道石狩川流域に広がるレクリエーションの森」

開催時期 平成24年10月4日(木)～5日(金)

開催場所 北海道赤井川村、江別市等

参加人員 25人

研修内容 第1日（10月4日）

赤井川村：赤井川野外スポーツ林の視察等

第2日（10月5日）

江別市：昭和の森・野幌自然休養林の視察等

(4) 森林環境教育ネットワーク事業

平成 19～21 年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業（林野庁補助事業）の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

① ウェブサイト「森で学ぼう！森林環境教育ネットワーク」の運営

URL：<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

② メールマガジンの配信

第 84 号(平成 24 年 4 月 5 日)～第 100 号(平成 25 年 3 月 15 日)

③ パンフレット「森林環境教育のすすめ」等の配布

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等を PRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、①機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行、②実施機関や活動計画等の登録、③子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供、④リーダー等交流・研修会の開催、⑤インストラクターの紹介等の活動を実施。

(6) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4回)や現地研修会(1回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム：平成 24 年度の活動状況

研究会等の開催	テ ー マ ・ 講 師 等
<p>第 1 回研究会 (3 月 7 日)</p>	<p>「索道事業の現状と課題」 講師 国土交通省鉄道局技術企画課 課長補佐 今村 徹 氏</p>
<p>第 2 回研究会 (5 月 14 日)</p>	<p>①「平成 23 年度の森林・林業白書について」 講師 林野庁企画課 課長補佐(年次報告班担当) 福田 淳 氏 ②「若者の素の力が日本を再生する」 講師 江戸川大学 社会学部 教授 鈴木 輝隆 氏</p>
<p>第 3 回研究会 (7 月 30 日)</p>	<p>①「森林内における放射性物質対策について」 講師 林野庁研究・保全課 技術開発室長 中村 道人 氏 [代理]同室課長補佐(森林除染技術開発企画班担当) 山口 孝 氏 ②「森林・林業再生プランと東日本大震災下における 木材業の動向について」 第一部「東日本大震災後、住宅業界の動向について」 講師 ナイス(株) 執行役員(資材事業本部担当) 鈴木 淳 氏 第二部「東日本大震災後、木材業界の動向について」 講師 ナイス(株) 木材事業部 統括部長 桃溪 崇 氏</p>
<p>現地研修会 (10 月 4～5 日)</p>	<p>開催場所 北海道赤井川村：赤井川野外スポーツ林等 〃 江別市：昭和の森・野幌自然休養林等 (協会の全国研修会に併せて開催)</p>
<p>第 4 回研究会 (12 月 19 日)</p>	<p>①「緑の募金活動の取組状況について」 公益社団法人国土緑化推進機構 常務理事 青木 正篤 氏 ②「木質バイオマス発電の現状と課題について」 北海道木質バイオ開発事業協同組合 顧問 小川 康夫 氏</p>

(7) 巨樹・巨木保護運動への支援

国有林野内の巨樹・巨木の保護に資することを目的とする「巨樹・巨木保護中央協議会」の事務局として、巨樹・巨木の保護運動の経過等の取りまとめ、情報連絡等の活動を実施。

本中央協議会は、設立当初の目的や役割が達成されたことから、平成 24 年度末に解散。これを機に、これまでの活動経過等を取りまとめた冊子「巨樹・巨木保全活動の歩み」を発刊。

(8) 森林倶楽部への協力

森林管理局が主催する森林倶楽部の円滑な実施に資するため、参加者の傷害保険への加入に協力。(東北森林管理局：開催回数 3 回、加入者 95 人)

(9) 他団体主催行事への後援等

① 第 42 回日本レジャー・レクリエーション学会大会 (後援)

平成 24 年 11 月 16 日～18 日 (上智大学四谷キャンパス)

② 森林と市民を結ぶ全国の集い 2012 in 神々の国・島根 (後援)

平成 24 年 11 月 2 日～4 日 (島根県出雲市・大田市・益田市等)

③ 平成 24 年度国有林野事業業務研究発表会 (協会会長賞の授与)

平成 24 年 11 月 20 日 (林野庁)

○ 全国森林レクリエーション協会会長賞

(森林ふれあい部門)

課題名 夜叉ヶ池の貴重な自然環境を守り抜く

—夜叉ヶ池パトロール 10 周年を迎えて—

受賞者 福井森林管理署 今庄森林官 武田 尚之 氏

夜叉ヶ池パトロール員の会 会長 川崎 正俊 氏

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの審査を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録、また申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONEリーダー」としても登録。

なお、森林インストラクター養成講習は、平成17年度から、いわゆる環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」として農林水産大臣並びに環境大臣の登録を受けて実施。

平成24年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（平成24年2月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（平成24年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森林	5.12~5.14	3	東京都文京区 プラザフォレスト (全林野会館)	82人
	野外活動等	6.9~6.11	3		86人
	林業	6.23~6.24	2		92人
講習Ⅱ (全科目講習)	4科目	8.11~8.18	8		64人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。講習修了者は、申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONEリーダー」としても登録。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 平成 24 年 5 月 12 日～ 6 月 24 日（うち 8 日間） 受講者数 72 人
- ② 平成 24 年 8 月 11 日～18 日 受講者数 67 人

4 平成 24 年度森林インストラクター資格認定事業

受験申込者数は 532 人（前年度 559 人）、合格者数は 127 人（同 157 人）で、平成 3 年度からの合格者数の累計は 3,659 人。合格者は、登録により「森林インストラクター」の称号が付与されるとともに、申請により自然体験活動推進協議会（CONE）の「CONE インストラクター」としても登録。

なお、森林インストラクター資格試験は、平成 17 年度から、いわゆる環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」として農林水産大臣並びに環境大臣の登録を受けて実施。

平成 24 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（平成 24 年 2 月 1 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（平成 24 年 6 月 1 日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 16 日	札幌市	北海道経済センター	25 人
	東京都	青山学院大学	284 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	41 人
	大阪市	天満研修センター	118 人
	高知市	高知城ホール	16 人
	福岡市	電気ビル本館	41 人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 17～18 日	東京都	プラザ・フォレスト(全林野会館)	129 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（平成 24 年 11 月 29 日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（平成 24 年 12 月 7 日）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道 央	24年11月16日	札幌市	伴理事長
旭 川	24年6月22日	旭川市	伴理事長
帯 広	25年2月22日	北海道足寄町	伴理事長
函 館	24年8月1日	函館市	伴理事長
青 森 (研修会)	24年10月9～10日	宮城県蔵王町	伴理事長
秋 田 (研修会)	24年10月9～10日	宮城県蔵王町	伴理事長
前 橋 (研修会)	24年8月28日 ----- 24年10月22日	前橋市 ----- 群馬県みなかみ町(谷川岳天神平)	
東 京	24年7月5日	東京都江東区	伴理事長
長 野	24年7月4日	長野市	伴理事長
四 国	25年3月26日	高知市	伴理事長
賛助会員 研修会等	24年3月7日等	東京(森林共生フォーラム「研究会」への参加等)	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催

6 陳情・要望等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況 (平成24年度における会員数の異動状況)

区 分	平成23年度末	入 会	退 会	平成24年度末
正 会 員	251	2	6	247
賛助会員	17	1	-	18
合 計	268	3	6	265